

# 江南区 亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名： 地域の茶の間「しののめ」

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

全国的に地域の高齢化が問題となっている中、当コミ協区域内でも外出しないお年寄りが増えており、住民間でも関係性が希薄になっていく懸念があった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域の茶の間を定期的で開催することで、引きこもりがちなお年寄りに外出するきっかけを提供し、顔見知りを増やし、地域住民との繋がりを広げていくことで、健康増進や地域住民による相互見守り効果を発揮できるようにする。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

区役所だよりや回覧版等による周知活動のほか、スタッフ等の知り合いに声をかけ、認知度を高めていった。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

江南区役所、社会福祉協議会等

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

リピーターとなった人たちが、知り合いに声をかけて来場するなど、茶の間の認知度は少しずつ高まってきた。利用者同士で会話や協働作業をすることで、顔見知りが増え、徐々に輪が広がってきている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

コミュニケーションが気軽にとれるよう、スタッフの指導により折り紙づくりをしたりするなど、雰囲気づくりを大切にしている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

まずは一度、利用していただくことが重要なので、さらなる周知が必要と考えています。

気軽に利用してもらえよう、楽しいイベントや健康相談会などを開催し、利用者間で交流の機会が増えるような活動をしていきたいと考えています。

・地域の茶の間「しののめ」オープンセレモニーの様子  
(平成27年9月16日)



・歓談の様子



# 江南区 横越コミュニティ協議会

活動名： 江南区の自然に学ぶ事業

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

「横越地区子ども会議プロジェクト」で出された『自然や文化を大切にしながら発展する横越にしたい』、『自然が豊かであり、白鳥もたくさんいる』という子どもの声を活かすため。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子ども達が横越地域の河川や自然環境等を学ぶことで、自然保護意識の啓発を図るとともに、素晴らしい景観を次の世代にもつないでいくことを目的にした。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

阿賀野川自然観察会及び体験発表会等を実施した。観察会では講師のわかりやすい資料「阿賀野川ってどんな川？」をもとに一生懸命説明を聞き、自然観察を行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市立横越小学校、国土交通省北陸地方整備局阿賀野川河川事務所

## 実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

体験発表会では、学習した川の役割や阿賀野川の動植物などの豊かな自然をこれからも大切にしていこうことなどの発表があった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

体験発表や関係機関との連絡調整

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

経費等の問題もあるが、地域の豊かな自然を守っていくため学校と連携を図りとり、自然保護意識の啓発を図っていきたい。



江南区自治協議会提案事業  
「まちづくり活動サポートプロジェクト」  
実施状況写真(H27. 9. 24)



横越小学校4年生の阿賀野川観察会



横越小学校4年生の阿賀野川観察会



江南区自治協議会提案事業  
「まちづくり活動サポートプロジェクト」  
実施状況写真(H27. 10. 10)



横越小学校4年生の阿賀野川観察会体験発表



横越小学校4年生の阿賀野川観察会体験発表

# 江南区 横越コミュニティ協議会

活動名： 横雲通りピカピカ大作戦

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

「横越地区子ども会議プロジェクト」できれいな横越にしたいという意見を活かすため

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

小中学校の通学路にもなっている横雲通りの道路照明灯の清掃活動を行い、安心して安全に通学できることを目的に行った。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

横雲通りの道路照明灯の清掃活動を中学生と協働で実施した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市立横越中学校

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

中学生から「街灯がきれいになり、気持ちよく歩けると思う。機会があればまたやりたい」と言った感想もあり、より住みやすい地域づくりを推進することができた。  
また、清掃後の昼食交流会では地域の茶の間のボランティアの方々から作っていただいた地元産野菜を使った野菜カレーを「とってもおいしい。」と話が弾み交流を図ることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

交通安全対策や熱中症対策

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

経費等の問題もあるが、子供たちのきれいな横越にしたいという声を大切に、活動を継続していきたい。



江南区自治協議会提案事業  
「まちづくり活動サポートプロジェクト」

実施状況写真(H27. 8. 5)





江南区自治協議会提案事業  
「まちづくり活動サポートプロジェクト」

実施状況写真(H27. 8. 5)





# 江南区 曾野木地区地域づくり協議会

活動名 平成27年度 曾野木地区防災訓練

## 活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

曾野木地区での災害時を想定した避難訓練は、25・26年度と曾野木中学校を避難所として行われた。実際に災害が発生した場合には、曾野木地区では3小中学校が避難所となることから、同日・同時間に3避難所で同様の訓練を実施することとした。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

災害を想定して、同日・同時間に一連の同じ内容での避難訓練を実施する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

避難訓練の実施に向けての4回の運営委員会（全自治会、3小中学校、消防団）を開催して、実施内容の検討・確認を行った後、3避難所ごとに3グループに分かれてグループごとに細かく打ち合わせし、訓練参加者への周知に努めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

協議会の構成でない3自治会も含めた全自治会の参加による訓練ができた。

## 実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地区住民に実際に災害が発生した場合に、地区には3避難所があることが周知され、最寄りの避難所に避難することを理解していただいた。また自助共助による「自分の身は自分で守る。」ために必要なことを啓発できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

訓練のテーマを「自助共助」として、それをどのように住民に伝え理解してもらうかの方法の検討にかなりの時間を掛けた。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

「3避難所が存在すること。最低3日間は自身を守る。」を地区住民に考えていただいたと思うので、これからは避難所の運営を混乱なく行うため、どのようなことを準備すればいいのかを検討することが必要と思われる。

○曾野木中学校避難所



防災会ごとにまとまって避難所までの避難



避難所での点呼

○曾野木小学校避難所



防災グッズの展示



避難所での防災に関する啓発スライドの上映

○東曾野木小学校避難所



避難所で防災会ごとの点呼



避難所での防災に関する啓発スライドの上映